

# 輝け田底っ子

第41号

文責：校長 益永 一幸

## 令和4年度 田底小 チャレンジ目標

- ① 最後までがんばろう ② 上手に伝え合おう ③ 自他を大切にしよう



## あいさつで田底校区のみんなを明るくしよう

### 12月学校集会 校長の話

#### 「あいさつで田底校区のみんなを明るく元気にしよう」

校長先生は、朝、校門近くや道路でみなさんに会いますが、いつも元気に「おはようございます」とあいさつをしてくれる人がいます。校長先生はその時、とっても幸せな気持ちになり、今日も1日頑張ろうという気持ちになります。ありがとう。でも、下を向いて小さな声で顔を向けずにあいさつがする人もいます。「どうしたのかな。」と心配な気持ちになります。このように、あいさつの仕方は、人と人が気持ちを伝え合うとっても大切なものなのです。あいさつは、田底小学校の今年度のチャレンジ目標の「上手に伝え合おう」「自他を大切にしよう」にとっても通じています。

そこで上手なあいさつについて、もう一度確認しましょう。「あ」「い」「さ」「つ」の4文字を先頭にした合言葉を考えました。

- ① あいさつの「あ」は何でしょう。「明るく、元気に」です。笑顔も大切です。
- ② 「い」は何でしょう。「いつでも、どこでも」です。学校だけでなく、登校の時間や下校の時間にも、知っている人や出会った人に進んであいさつしましょう。
- ③ 「さ」は、「先に」です。自分から先にあいさつすると、さらに気持ちがよくなります
- ④ 「つ」は、「伝えよう心」です。あいさつは、心を伝える言葉です。「あなたを大切にしていますよ。」というメッセージです。「おはようございます」「こんにちは」「さようなら」というたった一言で心が伝えられるなんて、何と素晴らしいことでしょう。

では、さっそく今日から、「明るく、いつでもどこでも、先に」あいさつして、田底小学校のみなさんが主役となって、田底校区を明るく元気にしていってほしいです。

## 子どもたちの健やかな成長に向けてシリーズ ②【あいさつ】

人権のはじまりは「あいさつ」から。あいさつは、「あなたを大切にしていますよ。」というメッセージであり、「認め合い」「信頼」の人間関係づくりができるからです。子どもたちが朝起きて最初に顔を合わせる人は家族であり、互いに気持ちのよい「おはよう」からスタートすることは、健やかな人間関係の基礎を構築する大切な行動様式です。そして、子どもたちは、友達とあいさつし、地域の人とあいさつし、先生とあいさつしながら、大切にしていますよという「認め合い・信頼」の関係でつながっていきます。全ての人権感覚は「あいさつ」からはじまると言ってもいいでしょう。